

順天堂大学
スポーツ健康科学研究科
学籍番号： 4118046
氏名： 安達 阿記子

【目的】

本研究は、ゴールボール選手における競技環境に着目し、選手の取り巻く環境とその組織のプランニングにおいて強豪国と日本の比較を行い、日本のゴールボール選手における競技環境と組織に対しての課題を明らかにすることを目的とした。

【方法】

ゴールボール競技団体の環境調査として、5カ国（米国・トルコ・ブラジル・英国・日本）からコーチ又はスタッフを各1名選出し、選手の取り巻く環境調査として、17名（米国6名・トルコ5名・日本6名）の女子選手を対象とした。調査方法は質問紙調査とインタビュー調査を実施した。また、日本女子選手のインタビューデータから概念を抽出し、エコロジカルモデルに付置した。

【結果】

本研究により、5カ国の競技環境の実態が明らかとなった。また、エコロジカルモデルに付置した結果、組織レベルでのバリア要因が多いことが明らかとなった。既存の日本ゴールボール協会の普及や育成事業はマスタープランがないまま運営されていることが推察された。

【結論】

ゴールボール女子選手の取り巻く環境をエコロジカルモデルに付置した結果、4つのレベルのサポートとバリア要因が明らかとなった。また、日本のゴールボール競技団体には持続可能な組織として目指すべき新たなビジョンやミッション、プランニングが必要であることが示唆されたため、仮想ではあるが今後の競技団体についての提案を行った。